

太田生涯学習報

# はばたき

■発行 秋田県大仙市教育委員会 太田分室  
〒019-1613 秋田県大仙市太田町太田字新田下野50-3  
TEL 0187-88-1119・FAX 0187-88-2044  
太田分室・太田公民館・給食センター

目次	表紙・・・原生の森に誘われて
	花いっぱい・・・・・・・・・・2ページ
	親子読書・新刊案内・・・・・・・・3ページ
	学校・家庭・地域連携ネット・・・・4ページ
	町史編さん・スポーツ・・・・・・・・5ページ
	俳句・短歌紹介・輝人さん・・・6・7ページ
	教育随想・太田の子育て・・・・・・8ページ

かせん  
題字：木元嘉扇 (本名：悦子) さん・大町



大自然の中にどっぴりと漬かっている幸せで心が満たされました  
「オブ山の杉」(832.9m) 天然杉前で



ふれあい通学合宿によせる (太田南小からの礼状)



10月からスタートした太極拳教室 (週1回)

## 原生の森に誘われて

～ 東北3番目の巨樹に感激 ～

11月3日(金)、少年教室・親子ハイキングが行われました。紅葉に染まった川口溪谷にある「森の巨人たち百選」にも選ばれている巨木「オブ山の杉」を目指し、真木真昼県立自然公園管理員の倉田陽一さんの案内で親子登山を行いました。登山口につながる道は平成16年の崖崩れのため、長い間通行止めとなっており、登山道も木々が倒れたりしていましたが、子ども達は木をまたいだりくぐったりと、探検気分を味わいながら登っていました。オブ山の杉は、幹回り15.2m、樹高34m、急斜面にしっかり根を張った樹齢千年以上の威風堂々たる姿で相変わらず健在でした。大杉を目にした子ども達は、上を見上げたり、幹の周りを回ってみたりと図鑑や映像では体験できないその迫力に驚かされていたようでした。

また、下山してからは、川原でなべっこをし、子ども達がおこした火に鍋をかけて、いものこ汁を参加者全員でいただき、秋の一日を存分に楽しんでいただいていたようでした。子ども達の自然体験不足が叫ばれている中、太田公民館ではこれからも体験講座を実施します。親子で参加できる講座もありますので、ぜひご参加ください。

# 今年も素晴らしい花を 育ててくれました

第42回全県花だんコンクールの表彰式が、11月1日に秋田市の遊学舎で行われました。今年度は、全県から団体、家庭の部など二五〇点ほどの応募があり、環境美化や地域づくり運動の取り組みとしてその数も増えています。

太田町からは、今年もたくさんさんの申し込みがありました。そしてみごと特別優秀賞には、駒場新生会・小神成花の会・太田南小学校の三団体、後藤圭子（南小神成）・藤原サチ（金井伝）の二個人が受賞し、ほかの方々もつぎのように上位入賞しています。「花のまち太田」は、取り組みはもろろんのことコンクールでも結果を残していたできました。

市と公民館では、また来年も皆さんといっしょに智恵を出して、心を込めた「夢と希望の花」を咲かせていきたいと思えます。

**【団体の部】**  
 《特別優秀賞》駒場新生会（秋田県教育長賞）・小神成花の会（秋田魁新報社賞）・太田



潤いと安らぎある地域の実現にむけて頑張りました

南小学校（あすの秋田を創る協会会長賞）《優秀賞》太田みなみ幼稚園・太田東小学校  
 《優良賞》太田ひがし幼稚園・上新興遊園地花だん・太田郵便局・北開花の会地域花だん・北川口花の会・上南地域花だん（仲村地区）・小曾野部落会・上南地域花だん（伊勢堂地区）・小曾野子供地域

花だん・下南生活改善センター・東今泉フラワー会・斉内婦人学級・太田地域老人クラブ連合会《努力賞》大曲農業高等学校太田分校・柳持花の会・大町花の会・石神子供会・上堰子供会・上堰北老人クラブ・高橋生活改善組合

**【家庭の部】**

《特別優秀賞》後藤圭子・藤原サチ《優秀賞》安達武男・高橋千恵子・田口仁美《優良賞》小松洋子・佐々木英子・福原キミ子・高橋美江・小松紀恵子・高貝ヨシエ・伊藤和子・高橋セツ子・野中キクエ・藤原イデ・高橋武男・大澤 貞・伊藤ヤエ子・小松ケエ子・大信田祐子・富木豊太・千葉スズエ・煤賀スミ子

《努力賞》石崎千代子・高橋敬子

**【モデル花だん指定】**  
 《優秀モデル花だん》太田中学校《モデル花だん》太田北小学校・藤原成雄

**善意の植栽作業**

## おおた花の会が大活躍！

球根 5,000 個で両側に 2 km

「スイセンロードを伸ばそう！」のかけ声で、今年もボランティアの皆さんによる球根の植付け作業が行われました。

これは、40年以上も前に東今泉の老人クラブで始まり、10年ほど前からは「おおた花の会」と公民館の共催で行うようになって、今では太田の晩秋の風物詩にもなっています。

今年は、小雨にもかかわらず11月12日に、市道久保関古館線の太田中学校の東からセイコー商店前までの両側に約5,000個の球根を植えられました。植付けされた球根は、太田地域の方々から善意で寄せられたもので、春一番に道を彩る黄色のスイセンの花が待ち遠しくなりました。4月には見事に咲き誇る太田のスイセンロード。総延長は、20kmを越えています。



球根を植え付ける太田花の会の会員



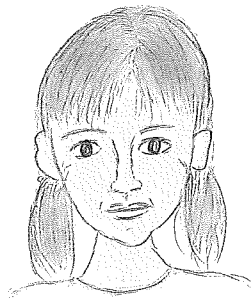
親子読書 ⑧

この本だーりすぎ

「ロボママ」を読んで

太田南小学校四年

佐藤 結衣



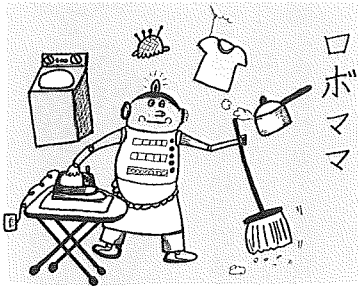
私の顔

男の子のお母さんはロボットの研究をしています。お母さんは家事など全然出来ません。

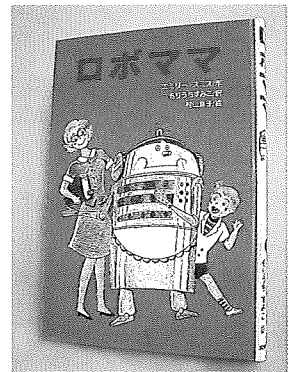
ある日、お母さんは「ロボママ」を完成させました。ロボママはお母さんが出来なかつたそうじ、洗たく、買い物、それに料理もつくってくれます。そうじをすればすぐピカピカにしてくれるし、料理だっておいしいのです。何でも完璧に出来ます。はじめの内は、「いいな」と思っていました。が、やっぱり本当のお母さんの方が良いと男の子

は、病気をした時に強く思いました。それは、お母さんが仕事を休んでくれてそばで、優しい言葉をいっばいかけてくれたり、おでこに手をあててくれたりしたからです。

もし、私の家にロボママがいてくれたら最初のうちはいいなと思うけれどロボママよりだったら、やっぱり本当のお母さんがいてくれたら安心ですし、絶対良いと思いません。それは、私のお母さんは、怒るときもありますが優しいし、ユーモアがあります。料理、だつて最高にいいし、何でも出来るからです。私はお母さんが大好きです。



結衣さんの感想画



エミリー・スミス作・もりうちすみこ訳/文研出版

(父) 文康

この物語は、母親が仕事で忙しいため自分の代わりに家事全般でもこなせる「ロボママ」を作つて、子に与えた話です。

しかし、子どもはそれを望んでいるのではなく、母親が側にいるだけ、優しい言葉をかけてくれるだけで安心です。そのことに気が付いた母親は、仕事を休んで子どもの側にいることを決心します。その親の愛を感じた子どもは、「仕事がんばつて」と励まします。こんな純粋な心は、誰もが持ち合わせていたのに現在はどうでしょうか。便利な世の中、それに比例して、大切なものが失われていく。心のふれあいの大切さを気付かせてくれた本です。

太田図書館の新刊

9/1~10/30購入分

- 木のいのち木のころろ 西岡 常一
- 大黒柱に刻まれた家族の百年①②③ 塩野 米松
- フアーブルこんちゅう記①②③④⑤⑥ 文小林清之介・絵たかはしきよし
- クラスの人気者めざせ学校 占いクイーン マーク矢崎著
- 北朝鮮 地獄の強制収容所 姜 哲煥
- それでも日本人になった理由 武永 賢
- 大好きな韓国 四方田犬彦
- 韓国ドラマ、愛の方程式 小倉紀蔵
- 空のレンズ 片山恭一
- やがて幸福の糧になる 柳澤桂子
- 三十一歳ガン漂流 奥山貴宏
- 時代の証言者①②③④ 読売新聞解説部
- 図説 大仙・仙北・美郷の歴史 監修 富木耐一
- ことばのこぼこ 和田 誠
- 歴史のなかの天皇 吉田 孝
- 日本の漢字 笹原宏之
- まちづくりと景観 田村 明
- 韓国現代史 文京 洙
- 良心の自由とこどもたち 西原博史
- 少年事件に取り組む 家裁調査官の現場から 藤原正範

子ども絵本まつり

本のある子育てを

太田図書館では、子どもを対象にした最新版の優れた図書を紹介しています。

今回は、図書館企画第五弾として、幼児・小学生(低・中学年)向けの本を中心にした「子ども絵本まつり」で皆さんのおいでをお待ちしています。



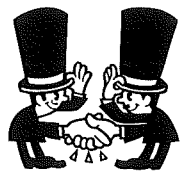
■悪役レスラーは笑う「卑劣なジャップ」グレート東郷 森 達也

■イガー・カ・イジー物語 ①②③④

■作おのりえん・絵久本直子

■かこさとし ころのほん ①②③④

■めがねうさぎ せなけいこ



大きく  
ふくらんだ

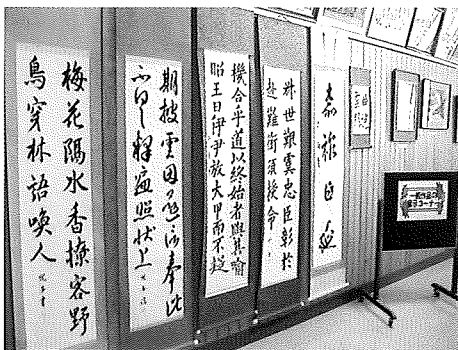
# 連携の輪

現在は子ども受難の時代で一番苦しんでいるのは子どもです。支える学校、地域、家庭に何ができるのでしょうか。そんなことで身近なところからせまるものとして関心を寄せる子弟教育。それは学校教育です。

互いに信頼関係のうえに成り立って家庭・地域との連携が深まるほど学校教育そのものの足腰が強くなるという基本的な考えをもっています。いわゆる地域に支えられ、支えるという発想です。ここでは、太田の教育が元気になるために地域との連携作用をことのほか重視している経営の実態をシリーズとしてとりあげます。

太田北小学校は今年度も、地域コミュニティとしての「開かれた学校」となるべく、地域の特性を知り、「地域の資源（人・もの・環境等）」を生かした教育に意欲的に取り組んでいます。春には、家庭や地域関係者のご協力を得て、防犯の核となる「国見っこ見守り隊」を結成しました。また、授業や学校行事では「本物体験」を求め、保護者の方がたを講師に招いて「開かれた授業」の実践による連携を図っています。

先日の学習発表会では、地域の方（一般）の作品展も合わせて開催しました。二回目の今年も、太田公民館から地域の同好会の作品、計五十点をお借りし展示しました。多数の参観者が、書道・陶芸・俳句・短歌・墨絵等



地域の方の作品も鑑賞した学習発表会

の力作に釘付けとなるほどの大好評でした。今後も、地域の方がたからご協力をいただき、「地域の大切な資源」を子どもたちのために、活用に努めてまいります。（教頭・佐藤政美）

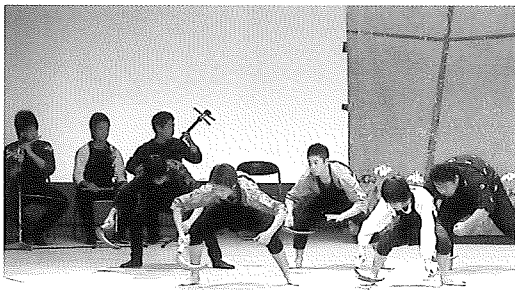
## 「特別賞」を受賞しました

大曲農業高校太田分校

第39回秋田県高校郷土芸能・日本音楽合同発表会（県高校文化連盟主催）が、11月12日（日）、由利本荘市文化会館で行われました。

太田分校の生徒たちは、この一年間、基本を大切に一生懸命練習してきました。演奏者は全ての楽器から美しい音色を奏でることができるようになり、そして、踊り手は、全身全霊を使い指先一本、一本や表情などにも心を込めて踊れるようにと、日々精進してまいりました。

それでも、本番での完成度は80%程度だったと思います。



息の合った踊りと伴奏に約600人の観客から大きな拍手



「瑞穂の国・秋田」を披露する太田分校の生徒たち

さて、当日はテレビや新聞で報道されたように、準備中の他校の生徒が、ホールの天井裏から落ちて重傷を負うという事故が発生、開演も2時間遅れとなりました。

そして本番、生徒たちは堂々の発表をしてくれました。晴れのステージ発表を終え、結果よりまず何より力を出し切ったことに大満足でした。「やったあ！」という安堵感から涙を流して喜ぶ生徒もいました。

特別賞は、生徒にとって地道に頑張ってきたことへの褒美だったと思います。

来年も、この受賞を心の糧にさらに前進したいと思います。

（教諭・福原幸子）

町史編さんだより

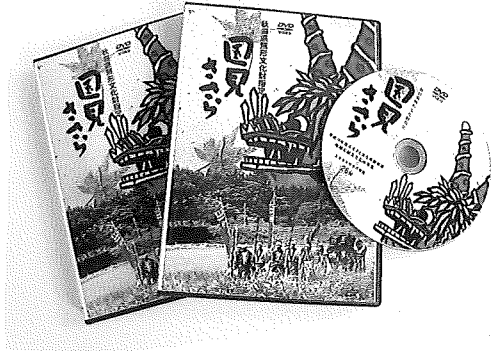
# 大切な記録を映像に残す

国見ささらDVD完成披露会を開催

保存活動が重要と講演会も

このほど「国見ささら」の映像化が完成しました。これは、秋田県文化財保護協会が窓口となって進めている、ふるさと文化再興事業の一環として行われたものです。

国見ささらは、昭和39年に県の無形民俗文化財の指定を受けている、江戸時代から続けられてきた国見地区の伝統文化です。現在、太田地域には横沢・国見の二つのささらが伝承されていますが、秋田県では、20年前までは66団体ものささらや鹿おどりがありました。しかし最近の調査によれば40団体ほどに減っています。



26分と120分のDVDに収録



茶谷先生の講演には、説得力がありました

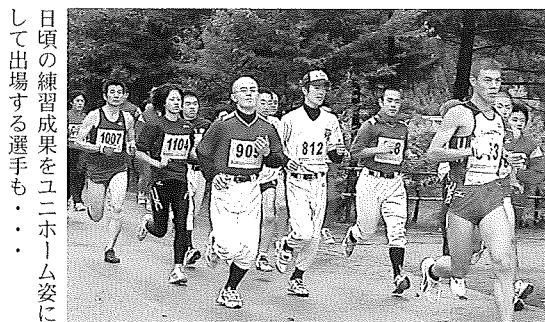
今回の映像化は、こうしたこともあり、映像記録に残すことで伝承活動を支援しようとして行われたもので、ささらのルーツや地域の紹介、練習風景や神社の祭典などをDVDとビデオテープの2種類に収録しました。11月20日(月)には、映像化の完成を記念して、映像の鑑賞会と「芸能の生命力とは」と題した茶谷十六先生(民族芸術研究所理事長)の講演会が行われ、60人ほどの参加者はささらの歴史や民俗芸能の伝承の大切さを再確認しました。

## 272人健脚を競う

### 「奥羽太田ロードレース大会」

第8回奥羽太田ロードレース大会が、10月8日に奥羽山荘をスタート・ゴールとする日本陸連公認の特設コースで行われました。

小雨まじりの悪天候にもかかわらず、小学生から一般まで2km・5km・10kmの14部門に二百七十二人が元気に出場しました。家族ぐるみで声援をされるなど、深まり行く秋の一日を楽しみました。各部門の優勝者は次のとおりです。



日頃の練習成果をユニホーム姿にして出場する選手も・・・

《2 km》	氏名	タイム	住所
1部 小学1・2・3年男子	小松 海斗	(9'11")	大仙市太田町
2部 小学4・5・6年男子	池田 将	(7'49")	仙北市田沢湖
3部 小学1・2・3年女子	阿部 真理	(10'26")	仙北市田沢湖
4部 小学4・5・6年女子	高橋 美礼	(8'40")	仙北郡美郷町
5部 中学校女子	倉田 紗彩	(7'21")	大仙市太田町
6部 40歳以上女子	讃岐 裕子	(8'41")	横手市大森町
《5 km》	氏名	タイム	住所
7部 中学校男子	高橋 拓	(18'39")	大仙市太田町
8部 29歳未満男子	室谷 佑一	(16'57")	仙北郡美郷町
9部 49歳以下男子	佐々木浩孝	(17'27")	大仙市太田町
10部 50歳以上男子	津谷 憲生	(21'12")	北秋田市坊沢深沢
11部 高校生以上女子	柿崎 栞	(21'05")	大仙市長野
《10km》	氏名	タイム	住所
12部 高校生以上男子	井関 肇	(34'21")	大仙市若竹町
13部 50歳以上男子	今野 久夫	(42'41")	秋田市川添
14部 高校生以上女子	斉藤 玲子	(43'42")	青森県青森市



笑顔に輝く表彰台

# 情報アラカルト



講師は前大仙市教育長の笹元先生

## 子育ては親そだち

～家庭のあり方を見つめて～

みなみ幼稚園家庭教育学級

11月21日(火)太田みなみ幼稚園家庭教育学級が開かれました。講師の笹元嘉辰先生ささもとよししたつの自己紹介から会場は爆笑に湧き、演題のお話に引き込まれました。

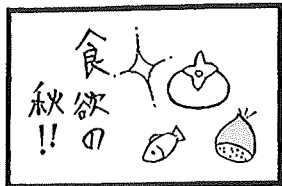
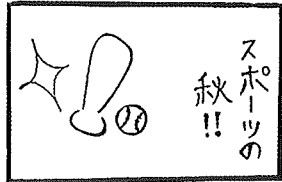
大仙市で発生した殺傷事件、いじめと自殺の事件、現代世相は歪ゆがんでいると力説。心の栄養不足が原因だといいます。なぜでしょうか。①祖父母の役割分担がなくなった。②兄弟不足で社会性が身につかない。③ガキ大将がいなくなった。④大自然が失われつつある。⑤物が豊富で貧乏体験が不足。子どもはいろんな人に出会って成長します。協調し、我慢を学び、自分を生かす力が育ちます。ユーモアを交えて、わかりやすく説く笹元先生のまなざしは、とっても温かいものでした。

## 給食だくいき

たくさんのカボチャ  
ありがとう

今年もひがし・みなみ幼稚園の子ども達が、自分達で育てた「カボチャ」を、一個ずつ大事に胸に抱えて給食センターに届けてくれました。

登場です。野菜のカレーの中に、みんなで届けてくれた甘いカボチャが入った美味しいカレー給食を食べていたました。自分たちが育てた野菜には、特別の思い入れがあり、そのぶんお話しも盛り上がり楽しい給食となりました。



## 温かい善意に深謝

10月14日(土)、太田公民館主催の映画鑑賞の夕べが開かれました。今回の作品は「待合室」。岩手県のノール線の駅の待合室のノートに書かれた実話をもとに、命の大切さを叙情豊かに表現したものでした。

会場の太田文化プラザ募金箱には、皆さんからの善意(一万七千五百円)が集まり、自殺防止等電話相談NPO法人「秋田いのちの電話」の運営費として届けさせていただきました。ありがとうございます。

## ☆わが町の「輝人」さん☆

心豊かな子ども達との  
出会い



たかはし 高橋 かつこ 勝子さん (上 堰)

子どもたちの明るい笑顔と元氣な挨拶、温かい先生方に迎えられてお伺いする小学校。私たち読み語りグループ「虹」は、太田北小、太田南小で子どもたちに読み語りをしていきます。将来を担う子どもたちの豊かな心の育成に微力ながらお役に立てれば...との願いから始めたことですが、子どもたちから私たちがむしろ心の温もりを頂いています。

低・中・高学年別に、時には全校生徒と一緒に読書集会の機会もありますが、とても静かで集中して聞いてくれます。一人ひとりの目がきらきらと輝いている姿に、心が豊かに育っていることを感じます。絵本や物語を通して子どもさんたちと心のつながりや響き合いを大切に、温かく迎えて下さる先生方に感謝し、読み、語っていきたいと思っています。

(読み語りグループ「虹」代表)

サークル・さあくる



トパーズ  
ダンスサークル

代表 出原 武郎さん  
(中里・88-1203)  
練習会場 公民館・北部セ  
ンター・太田文化プ  
ラザ  
練習日 火・木・金曜日  
場所 太田公民館  
和気あいあいの中で、し  
かも楽しく、そして健康増  
進と親睦を！

No.266 ミニ展示コーナー



太田水墨画同好会展

会場 太田文化プラザ  
会期 平成18年12月31日まで  
同好会のメンバーの最近  
作品を展示。余白や墨の濃  
淡の奥深さと運筆等、色彩  
とは違った味わいをご鑑賞  
ください。

(大田市太田地域老人クラブ連合会事務局長)

鶏鳴きてしじまをやぶり秋の朝	野中 竜雄	茜空終えるにのしい野良仕事	大畑 幾子	コンバインで大豆刈る世の呉汁 <small>ごじゅう</small> かな	大信田 俊郎	空手技幼女が蹴った秋の空	藤原 成雄	日当たりに筵 <small>むしろ</small> ずらして小豆干す	藤原 八重子	朝の卓端に陣取る柿二つ	高橋 睦子	次なるや命育くみ散る紅葉	進藤 順子	いつの間に山粧う東山	高橋 良子	初霜にカンナの匂いゆきまどう	田口 栄徳
----------------	-------	---------------	-------	---------------------------------------	--------	--------------	-------	------------------------------------	--------	-------------	-------	--------------	-------	------------	-------	----------------	-------

田 教室  
俳句  
選者 藤井 洋勝先生  
十月習作選



心豊かに

女ゆえ学問いらぬ働けと	明治の母は常に言いたり	花たちに如雨露のシャワーを浴びさせて	仰げば今日も茹だる真夏日	台風の荒ぶる海は繰り返し	涛 <small>なみ</small> となりて岸へせめくる	半年の空白のりこえ師の君は	一首作りしと笑顔優しき	スイッチを夏から秋へ切り替えて	朝夕羽織るジャケット一枚	夕映えの空をゆっくり眺めつつ	今日は一人の夕餉 <small>ゆうけう</small> たのしむ	猛暑去り薄での布を御仏に掛けて	近づく秋に備える	常のごとみりん入れるは甘すぎる	婆の畑の馬鈴薯 <small>ごしんじょう</small> なれば
藤澤 トミ	新田平八郎	田口 清	高橋 艶子	高橋 千恵子	高橋 千世子	高橋 千恵子	高橋 キクエ	鈴木 誠							

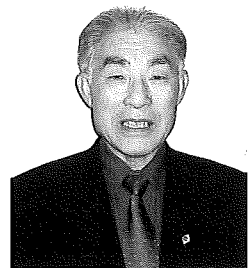
路 歌会  
野 短歌  
九月詠草より



☆わが町の「輝人」さん☆

Vol. 14

健康寿命



としま じゅうじ 戸嶋 二さん (大町)

著しく進行する少子高齢化問題が  
さしせまって大切な政治課題となつ  
ているが、その道筋は不透明な現状  
である。

二〇〇〇年に、世界保健機構から  
出された平均寿命と健康寿命の差は  
六歳だそうである。平均寿命と健康  
寿命が限りなく近ければお迎え直前  
まで元気で生きがいのある生活を送  
ることができるとし、子や孫の世話に  
なる事も最小限に止めることができる。

老人クラブの三大目標に「健康・友  
愛・奉仕」が掲げられている。健康で  
元気であれば、高齢者はこれまで  
培った豊富な経験と知識を生かして、  
まだまだ社会貢献が出来るのである。

高齢者の時代と言われる二十一世  
紀にふさわしい高齢者になるように  
したいものである。そのためにもお  
互いが心の豊かさや生きがいを求め  
て広く学びあい、そして支え合う仲  
間づくりを尚一層勧め、心の健康、か  
らだの健康づくりに努めたいと願っ  
ている。



食べ物を大切に  
する心



太田中学校  
校長 松田 篤

「ニッポン」と言われるように、今の日本ではたくさんの方が食料が、日々あちらこちらで捨てられています。

ホテルやレストランでの食べ残し、コンビニやスーパーでは賞味期限切れの商品が捨てられ、家庭でも買い過ぎて古くなったり、食べきれなくて捨てられています。

残念ながら学校給食の現場も例外ではなく、過去の勤務校では、残飯残菜の多さにびっくりするとともに、指導の至らなさを痛感したものです。

日本では、一人当たり毎日六三〇キロカロリー（大人の茶碗でご飯二〜三杯）分の食料を無駄にしているという試算もあります。世界には飢餓で苦しんでいる人々が数億人以上いるという事実から考えると、大変気になる数値ではないでしょうか。

豊かさや便利さの中で、いつの頃からか、大人も子どもも「食べ物を大切にする心」をどこかに置き去りにし、食べ物を単なる「モノ」として見るようになってしまったのではないのでしょうか。

大量生産・大量消費とともに、食べ残し等の大量廃棄も進んできたと考えられます。「輸入してまで食べ残す

こまつ ゆか  
小松 由佳さん(秋田県民栄誉章)の  
文化講演会へどうぞ!

中国とパキスタン国境にある世界第2の高峰こうほう K2(8,611m)登頂に成功した東海大学山岳部OB会 小松由佳さんの講演会が開催されます。小松さんのお父さんは太田町出身です。

◇演題：「K2の空をめざして」  
◇日時：平成19年1月15日(月) 午後1:30~3:30  
◇会場：太田文化プラザ  
◇主催：大仙市・大仙市教育委員会  
◇協賛：大仙市太田地域PTA 連絡協議会  
◇問い合わせ：太田公民館 (88-1119)



編集後記

小松由佳さんの秋田県民栄誉章記念講演会に参加する機会がありました。県民栄誉章は、世界で第二位の高峰K2に、日本人女性で初めて(世界でも八人目)登頂したことを讃えて贈られたものです。女性ではアトラクタ五輪代表マラソンの浅利純子さん(鹿角市出身)に次いで二人目の栄誉です。

K2は、パキスタンの奥地にあり、名前もないため、今でも記号で呼ばれている山です。登頂は、エベレストより危険で難しい山として知られています。実は、由佳さんのお父さんの斉さんは太田町築地古館出身で、実家は桜の木酒店です。

そんなことで、太田町でも講演していただけないものだろうかと言う話になり、桜の木さんに電話し、秋田市にお住まいのお父さんにも電話し、母校の東海大学と交渉して実現にこぎつけました。

山の話は、由佳さんが来られたときに聞いて頂くとして、お父さんとは同級生で、とはいえ何十年ぶりに突然の電話をしました。同級生とはありがたいもので、二言三言話しただけで用件をわかつていただけました。言葉の端々に、娘を大学に入学させ、今は社会人になったけれども、年間の大半を危険な山に入る我が子への心配と親の愛情がひしひしと伝わりました。彼女のお父さん、登山隊のサポート隊長は、彼女のご両親だと強く感じた電話となりました。

《編集委員》 後藤道和、大信田英夫、草薨 稔、細川良隆、鈴木栄子 (大信田)

太田の子育て . . . . . No.112

“子どもが育つ魔法”

けなされて育つと  
子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと  
子どもは乱暴になる  
不安な気持ちで育てると  
子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」といって育てると  
子どもはみじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると  
引っ込みじあんな子になる  
親が他人をうらやんでいると  
子どもも人をうらやむようになる  
叱りつけてばかりいると  
「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば  
子どもは自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレル子にはならない  
ほめてあげれば、子どもは明るい子に育つ  
愛してあげれば  
子どもは人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば  
子どもは自分を好きになる  
見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば  
子どもは思いやりを学ぶ  
親が正直であれば  
子どもは正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば  
子どもは正義感のある子に育つ  
やさしく思いやりをもって育てれば  
子どもはやさしい子に育つ  
守ってあげれば子どもは強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば  
子どもはこの世の中はいいところだと  
思えるようになる  
「子どもが育つ魔法の言葉」より  
この詩は、皇太子が四十五才の誕生日に朗  
読されたものです。以来ベストセラーとなり  
一時はなかなか手に入らなかったほど多くの  
人々に読まれた本です。また、この詩は、ス  
ウェーデンの社会科の教科書(中学校)にも  
掲載されています。